

当園ではこの度、令和7年度の幼稚園学校評価として、教職員による自己評価を実施いたしました。教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自身や園全体を見つめ直すいい機会となりました。

また、それぞれの評価結果について、皆で話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。この自己評価の結果を深く受けとめ、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

I. 教育目標

<p>①人間形成の基礎を育てる 幼稚園とは、子ども社会の中でお互いの心や身体の痛みを知り、成長していく場所。まわりの子ども達との関わりの中でやさしさ、思いやりの心を育み、相手の気持ちを察することのできる子に育つよう指導・援助していきます。</p> <p>②豊かな表現力を育てる 音楽表現、絵画・言語表現、身体表現など、自分の気持ちをあらゆる方法で表現する子どもは、さまざまな活動を通じて成長します。しかし、結果重視の教育では表現の幅を狭め、才能の芽を摘むことにもなりかねません。プロセスを大切に、時間をかけて適切に指導・援助していきます。</p> <p>③たくましい心と体を育てる 心の成長に、身体の成長は欠かせません。「本来のたくましさとは感情の豊かさである」と考え、子どもの「やってみよう」を大切に、体力・運動能力の向上を図っています。2歳児から5歳児まで、それぞれに独自のカリキュラムを用意し、個々の特性に応じて指導・援助していきます。</p> <p>④自ら考え、自ら判断し、行動できる子を育てる 脳が急速に発達する幼児期は、思考力、想像力、判断力を育てるのに最適な時期です。当園では、教師と子ども達が共感し合い、「気づき」と「発見」を喜び合う『SIあそび』を通じて、幼児が自ら学んでいく力を育て、個々の特性に応じて指導・援助していきます。</p>

II. 本年度の重点的な目標

<ul style="list-style-type: none"> ●職員研修の充実 ●園児の安全確認 ●食育の充実 ●地域への情報発信

III. 評価項目と取り組み状況

評価項目	取り組み内容	取り組み状況
1 職員研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの保育環境をより整えるため、教職員の為の研修を充実させる。 ・SI遊びの園内研修を実施する ・臨床の先生をお招きし、発達に関する研修を受ける。 ・各自が受けたい研修を、受講できる環境を整える。 	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ●他学年のSIを見ることで、自分のクラスと比較し、指導方法などを見直すきっかけとすることができた。 ●分からないことや疑問に感じたことを教師間で話し合い、共有することができた。 ●SI研修において3学年分の様子を見ることで、それぞれの成長過程を知ることができた。
2 業務効率の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・園内業務の効率化・利用者の利便性向上を目的として、中長期的にIT化を進めていく。 ・園内のノートPCの台数を増やし、中期的にはPC、アプリを利用した出欠管理の導入を目指す。 	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各クラスにPCが導入されたことで、朝の出欠数を各保育室で確認できるようになり、子どもから目を離さずに対応できるようになった。 ●バスのGPSを保護者が確認できるようになったことで、バス停での乗降が円滑になった。
評価項目	取り組み内容	取り組み状況
3 食育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 教職員と栄養士・調理スタッフとの協力・連携体制を整え、子どもたちの「選食力」「食事のマナー」「文化の伝承」へとつなげる。また、ご家庭への食育に関する情報発信を充実させ、保護者との共通理解を深める。 	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ●毎日の終礼で各学年の給食の食べ進め状況を共有し、ノートにまとめて栄養士や調理スタッフへ引き継ぐことができています。 ●「さんまの骨取り」「味噌づくり」など様々な食育体験を通して、食材への興味・関心を高めることができた。 ●各都道府県のご当地メニューを給食に取り入れることで、食文化への関心を育むことができた。
4 地域への情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根付く教育機関として、園の活動・方針を広く地域に発信し、地域の子育てに貢献する。 ・HPの内容を充実させ、より多くの方に見てもらえるようにする。 ・Instagramを使った情報発信を継続・内容の更なる向上を図る。 	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ●HPでは毎回の給食や行事の様子が投稿されており、保護者が日常の様子を知ることができ、安心感につながっていると感じる。 ●HPに加え、InstagramなどのSNSを通して発信することで、特別な行事だけでなく日頃の様子も保護者や地域の方へ広く伝えることができています。 ●SNSやHPでの発信に対して、保護者から「いつも楽しみにしています」など多くの反応をいただいている。

【評価の基準】

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

IV. 今後取り組むべき課題

1	職員研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 預かり保育の週にはSI研修の振り返りや共有ができていないため、来年度は実施できるよう工夫していきたい。 ● 発達に関する研修の機会を増やすことで、多様な子どもへの理解を深めていきたい。 ● 子どもへの関わり方について、教職員間での共有・検討会をより具体例を交えたものにする事で、質の高い保育につなげていきたい。
2	園児の安全確認	<ul style="list-style-type: none"> ● フォーマットのある週案については、日案と同様にPC化することで、さらなる効率化が図れると考える。 ● 「らくらく」導入により、携帯の小さな画面で全員の出欠を確認する必要があり、不便を感じる場面がある。園との連絡はスマートフォンで行い、出欠確認はタブレット等の大きな画面で行うなど、役割に応じた仕組みの検討が必要であると感じる。
3	食育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 季節のメニューなど、子どもになじみのない食材を提供する際には、イラストや文章で分かりやすく伝える工夫をすることで、食べ進みにつながると考える。 ● 子どもたちと給食スタッフの関わりが増えることで、「作ってくれる人」への感謝の気持ちの醸成につながると考える。 ● 各クラスの食べ進み状況を終礼後にノートで共有しているが、その中でも当日中に調理スタッフへ伝えるべき内容（例：お米の柔らかさ等）については、より確実に共有できる仕組みがあるとよいと感じる。
4	地域への情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ● 今後も投稿数や内容の質を維持することで、Instagramのフォロワー獲得につなげ、当園をまだ十分に知らない地域の方々へも継続して情報発信していきたい。 ● 写真や動画の質を高めることで、投稿者の思いや意図がより伝わる発信につながると考える。 ● 一人担任のクラスでは写真撮影が難しい場面も多いため、教職員間でカバーし合える仕組みづくりが必要である。

V. 学校関係者の評価 R8年 3月
保護者代表3名に紙面にてヒアリング

<p>1. 園が自己評価で設定した目標・計画は適切であったか 3名中2名が“適切に実施されている”、1名は”おおむね適切に実施されている”と判断した。 ・色々な活動のおかげで、子どもの自ら学ぶ力や表現力がついたと思います。</p> <p>2. 評価結果の内容は適切であったか 全員が適切に実施されていると判断した。 ・それぞれの評価結果が適切であると確認しました。</p> <p>3. 今後取り組むべき課題は適切に設定されているか 全員が適切に実施されていると判断した。 ・Instagramの画質が多少粗く感じます。 改善案として、所定のカメラ以外での撮影も検討下さい。</p> <p>4. 今後園に期待することがあれば教えてください ・子どもが毎日楽しそうに通っており、先生方の関わりが丁寧だと感じています。 ・季節の遊びや行事をとして、豊かな経験ができています。</p>
--

以上